

板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025 及び 板橋区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）2025 の進捗状況について

板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025 及び板橋区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）2025 における令和 4 年度の進捗状況を取りまとめたので報告する。

1 板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025

（1）計画の基本事項

①位置づけ

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 19 条第 2 項で定める「地方公共団体実行計画」であるとともに、「気候変動適応法」第 12 条で定める「地域気候変動適応計画」を包含している。また、「板橋区環境基本計画 2025」の基本目標を具体化していくための計画としても位置づけられている。

②計画期間

令和 3（2021）年度から令和 7（2025）年度までの 5 年間としている。

③指標

温室効果ガスの削減効果が認められる重点施策を中心に、削減目標からのバックキャストや他の計画に基づく事業を参考に 18 の指標（25 項目）を設定している。数値による指標の設定が困難な施策についてはめざす方向性のみを示している。

（2）令和 4 年度実績値に基づく進捗状況の点検・評価

計画目標は温室効果ガス排出量を令和 7（2025）年度までに平成 25（2013）年度比で 30% 削減（約 70 万 t - CO₂削減）としており、令和 2（2020）年実績は約 17.6%（約 40.9 万 t - CO₂）削減し、「順調」に推移している。

また、令和 4 年度における指標の進捗状況について、点検・評価を行い、目標値に対する進捗度を「順調」、「漸進」、「停滞」で評価し、数値による指標の設定が困難な施策については、基準年値（令和元年度）からの進捗を「進展」、「横ばい」、「後退」で評価した。

指標（25 項目）の目標達成状況については、「順調」が 8 項目、「漸進」が 5 項目、「停滞」が 2 項目となった。また、数値による指標の設定が困難な施策については「進展」が 1 項目、「横ばい」が 1 項目、「後退」が 2 項目となった。

表 1-1 指標の目標達成状況（区域施策編 2025）

基本方針	数値指標				方向性指標			
	順調	漸進	停滞	その他※	進展	横ばい	後退	その他※
I. クリーンなエネルギーを賢く使おう	5	3	0	2	0	0	0	1
II. 地球に優しいスマートインフラを整備しよう	0	0	0	0	0	1	2	0
III. 環境と社会にも配慮したガバナンスを進めよう	0	0	2	0	0	0	0	0
IV. 3R とエシカル消費を進めよう	1	1	0	0	0	0	0	0
V. 地球環境を考え行動する人づくりを進めよう	1	1	0	0	1	0	0	1
VI. 気候危機に今から備えよう	1	0	0	1	0	0	0	1
計	8	5	2	3	1	1	2	3

※基準年値又は実績値のどちらかの数値が無く比較ができない項目や、数値の増減で良し悪しを評価することができない項目については、「その他」として集計した。

表 1-2 令和 4 年度における指標の実績と進捗状況（区域施策編 2025）

指標名		基準年値 令和元年度	めざす 方向性	目標値 令和 7 年度	実績値 令和 3 年度	実績値 令和 4 年度	進捗率	進捗度 ※10	
基本 方針 I	I-1 省エネルギー行動の促進								
	電力・ガスの使用量の削減	電力	233,298 万 kWh ^{※1}	↘	210,625 万 kWh	225,931 万 kWh ^{※2}	225,171 万 kWh ^{※3}	35.8%	漸進
		ガス	16,755 万 m ³ ^{※1}	↘	12,082 万 m ³	15,419 万 m ³ ^{※2}	15,484 万 m ³ ^{※3}	27.2%	漸進
	いたばし環境アクションポイント事業参加者数	家庭部門	—	↗	1,000 者 ^{※4}	277 者	401 者	40.1%	—
		事業所部門	—	↗	40 者 ^{※4}	8 者	6 者	15.0%	—
	I-2 建築物等の省エネルギー化								
	大規模建築物の建設時における蓄電池・省エネ給湯設備・断熱窓導入率	蓄電池	—	↗	—	6.3%	5.6%	—	—
		省エネ給湯設備	37.5%	↗	50%	31.3%	44.4%	55.2%	順調
		断熱窓等	62.5%	↗	70%	72.9%	72.2%	100% 以上	順調
	街灯・公園灯の LED 化数（率）	街灯	16,790 基 (60.8%)	↗	27,600 基 (100%)	22,191 基 (80.0%)	22,839 基 (82.1%)	54.3% ^{※5}	順調
		公園灯	238 基 (11.1%)	↗	2,139 基 (100%)	759 基 (35.4%)	1,826 基 (84.1%)	82.1% ^{※5}	順調
	I-3 再生可能エネルギーの導入拡大								
	大規模建築物の建設時における太陽光発電設備等導入率		8.3%	↗	12.8%	12.5%	16.7%	100% 以上	順調
	区有施設への再生可能エネルギー100%電力の導入割合拡大		18.9% ^{※6}	↗	64.3%	18.9%	21.6%	5.9%	漸進
基本 方針 II	II-1 次世代自動車の推進								
	区役所で使用している自動車の低公害車率		74% ^{※7}	↗	—	72.2%	70.1%	—	後退
	II-3 緑化の推進								
生産緑地地区の指定面積、緑のカーテンに関する情報提供回数（SNS 等）	生産緑地地区の指定面積	9.14ha ^{※3}	↗	—	9.07ha	8.59ha	—	後退	
	緑のカーテンに関する情報提供回数（SNS 等）	43 件 ^{※3}	↗	—	51 件	42 件	—	横ばい	
基本 方針 III	III-1 環境経営の実践								
	省エネルギー診断の受診件数		23 件	↗	27 件	13 件	20 件	0% 未満	停滞
基本 方針 IV	III-2 環境産業振興の促進								
	板橋製品技術大賞応募数		24 件 ^{※3}	↗	25 件	19 件	21 件	0% 未満	停滞
基本 方針 IV	IV-1 ごみの減量								
	区民一人一日当たりの資源・ごみ量		689 g ^{※8}	↘	598 g	645 g	622 g	73.6%	順調
基本 方針 IV	IV-2 リサイクルの推進								
	リサイクル率		21.5% ^{※8}	↗	28%	22.5%	22.0%	7.7%	漸進

指標名		基準年値 令和元年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	進捗率	進捗度 ※10	
基本方針V	V-1 環境教育の推進								
	環境学習施設等の来館者数、こども動物園利用者数	環境学習施設の来館者数※9	270,195人※7	↗	—	250,718人	287,511人	—	進展
		こども動物園利用者数	544,605人※1	↗	600,000人	597,242人	606,557人	100%以上	順調
	環境教育プログラム利用校(園)の割合	74.4%※7	↗	100%	60.4%	78.4%	15.6%	漸進	
	V-3 パートナーシップの推進								
自然の電気の共同購入参加登録世帯数(区協力による東京都事業)	46人※3	↗	—	75人	未実施	—	—		
基本方針VI	VI-1 風水害に強いまちづくり								
	雨水貯留槽(雨水タンク)設置助成件数	12件	↗	20件	16件	16件	50.0%	順調	
	VI-2 猛暑対策の推進								
	区内熱中症搬送者数(熱中症の疑い含む)	193人※3	↘	—	139人	289人	—	—	
VI-3 ヒートアイランド対策									
緑被率	19.4%	↗	21%	次回 令和6年調査	次回 令和6年調査	—	—		

※1：平成29年度実績値 ※2：令和元年度実績値 ※3：令和2年度実績値 ※4：令和5年度目標値

※5：進捗率はLED化率(%)より算出 ※6：令和3年度基準年値 ※7：平成26年度基準年値 ※8：平成27年度基準年値

※9：エコポリスセンター・熱帯環境植物館・リサイクルプラザの各施設来館者数の合計

※10：計画最終年度の目標達成に向けた進捗状況。基準年値と比較して実績値がこのままのペースで推移した場合に、進捗率が100%以上になるものを「順調」、改善はしているものの100%に届かないものを「漸進」、0%以下になるものを「停滞」とした。令和4年度については、5か年計画の2年目(一部を除く)であるため、進捗率が40%以上になるものを「順調」とした。

なお、基本方針I-1「電力・ガスの使用量の削減」については、基準年値を平成29年度とし目標値を令和7年度の8年間で設定しており、今回は3年目のため37.5%を上回れば「順調」とした。また、基本方針I-3「再生可能エネルギーの導入拡大」については、「板橋区地球温暖化対策実行計画(事務事業編)2025」の計画期間が令和4年度から始まる4年間であり、今回は1年目のため25.0%以上となるものを「順調」とした。さらに、基本方針IVについては、「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025」の計画期間が平成30年度から始まる8年間であり、今回は5年目のため62.5%以上となるものを「順調」とした。その他、数値による指標の設定が困難で目標値設定なしの指標については、基準年値に対して実績値が5%以上増加(「めざす方向性」が下向き矢印の場合は減少)したものを「進展」、5%以上減少(同増加)したものを「後退」、増減が5%未満のものを「横ばい」とした。

(3) 基本方針ごとの進捗状況概要

基本方針I：クリーンなエネルギーを賢く使おう

①進捗状況による評価

- 電力・ガスの使用量の削減は「漸進」、大規模建築物の建設時における省エネ給湯設備・断熱窓導入率・太陽光発電設備等導入率、街灯・公園灯のLED化数(率)は「順調」、区有施設への再生可能エネルギー100%電力の導入割合は「漸進」となった。

②令和4年度の主な成果

- 街灯は82.1%、公園灯は84.1%をLED化し、計画どおりに進捗している。
- 大規模建築物の建設時における断熱窓導入率については、目標値を上回った。
- いたばし環境アクションポイント事業で家庭部門401者、事業所部門6者であった。

③今後の方向性等

- 電気・ガスの使用量削減については、いたばし環境アクションポイント事業などにより区民・事業者の省エネルギー・環境配慮に対する意識改革・行動変容を促していく。
- 区有施設への再生可能エネルギー100%電力の導入割合拡大については、関係部署と調整し進めていく。

基本方針Ⅱ：地球にやさしいスマートインフラを整備しよう

①進捗状況による評価

- ・区役所で使用している自動車の低公害車率及び生産緑地地区の指定面積は「後退」、緑のカーテンに関する情報共有回数は基準年値とほぼ変わらず「横ばい」となった。

②令和4年度の主な成果

- ・緑のカーテンに関する情報共有回数について、区内公共施設の緑のカーテンの育成状況や、副産物（ヘチマの実、ツル等）の活用方法を紹介する動画の投稿を行った。

③今後の方向性等

- ・区役所で使用している自動車の低公害車率について、導入困難な車両を除いてはほぼ導入済みであるが、車両切り替えの際に可能な限り低公害車に切り替えが行われるよう、予算編成時期に全庁的に周知をしていく。
- ・生産緑地地区の指定面積については、関係部署と連携し生産地緑地指定に向けて制度の普及に取り組み、制度についての周知を進める。
- ・緑のカーテンに関する情報提供回数については、発信頻度を維持しつつ、緑のカーテンに関する様々な情報の提供を図っていく。

基本方針Ⅲ：環境と社会にも配慮したガバナンスを進めよう

①進捗状況による評価

- ・省エネルギー診断受診件数及び板橋製品技術大賞応募数は「停滞」となった。

②令和4年度の主な成果

- ・省エネルギー診断受診件数は20件、板橋製品技術大賞応募数は21件となり、ともに令和3年度の実績を上回る結果となった。

③今後の方向性等

- ・省エネルギー診断受診件数については、コロナ禍で企業の事業縮小や在宅ワークの普及など、執務環境の変化により件数が伸び悩んだ。今後は企業の脱炭素社会やESG経営への関心が高まっていることから、ウィズコロナ、ポストコロナ時代の省エネについて周知徹底を図る。
- ・板橋製品技術大賞応募数については、令和4年度の応募数が上限であることがわかった。企業サポートコーディネーターと連携を取りながら応募製品の調整を図るとともに、目標値の見直しを検討する。

基本方針Ⅳ：3Rとエシカル消費を進めよう

①進捗状況による評価

- ・区民一人一日当たりの資源・ごみ量は「順調」、リサイクル率は「漸進」となった。

②令和4年度の主な成果

- ・区民一人一日当たりの資源・ごみ量は622gとなり令和3年度より減少した。

③今後の方向性等

- ・リサイクル率については、令和6年度から区内全域へ拡大するプラスチック再資源化事業の本格実施を中心に、SDGsの観点を踏まえ、さらなる向上を図っていく。

基本方針Ⅴ：地球環境を考え行動する人づくりを進めよう

①進捗状況による評価

- ・環境学習施設の来館者数は「進展」、こども動物園利用者数は「順調」、環境教育プログラム利用校（園）の割合は「漸進」となった。

②令和４年度の主な成果

- ・こども動物園利用者数は目標値の60万人を上回った。令和２年度には、大規模改修工事により、環境に配慮した草屋根やユニバーサルデザインを導入し、令和４年度のキッズデザイン賞を受賞した。

③今後の方向性等

- ・環境教育プログラム利用校（園）の割合は新型コロナウイルス感染症による制限の緩和により多くの学校（園）がプログラムを利用したため、令和３年度実績を大きく上回ることが出来た。今後もホームページ・SNSを活用しながら、積極的な利用を呼びかけていく。

基本方針Ⅵ：気候危機に今から備えよう

①進捗状況による評価

- ・雨水貯留槽（雨水タンク）設置助成件数は「順調」となった。

②令和４年度の主な成果

- ・雨水貯留槽（雨水タンク）設置助成件数は16件で前年度と同じ件数であった。

③今後の方向性等

- ・雨水貯留槽（雨水タンク）実績増のため、広報紙への掲載やSNSでの情報発信、イベントでのパネル展示、チラシの配布等により普及啓発を行っていく。

2 板橋区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）2025

（1）計画の基本事項

①位置づけ

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条第1項で定める「地方公共団体実行計画」である。また、「板橋区環境基本計画2025」の基本目標を具体化していくための計画としても位置づけられている。

②計画期間

令和4（2022）年度から令和7（2025）年度までの4年間としている。

③指標

温室効果ガスの総排出量の削減に効果的な取組として5つの柱を掲げ、3項目の指標を設定している。数値による指標の設定が困難な施策についてはめざす方向性や取組内容のみを示している。

（2）令和4年度実績値に基づく進捗状況の点検・評価

計画目標は温室効果ガス総排出量を令和7（2025）年度までに平成25（2013）年度比で36%削減（約10,634t-CO₂削減）としており、約20.6%（約6,088t-CO₂）削減し、「漸進」となった。（調整後排出係数を用いた場合は約7.2%（約2,136t-CO₂）削減）

また、令和4年度における指標の進捗状況について、点検・評価を行い、目標値に対する進捗度を「順調」、「漸進」、「停滞」で評価した。

指標（3項目）の目標達成状況については、「漸進」が3項目となった。

表 2-1 指標の目標達成状況（事務事業編 2025）

柱となる取組	数値指標※		
	順調	漸進	停滞
I.区施設の整備におけるゼロエミッション化の推進	—	—	—
II.再生可能エネルギー100%電力の導入拡大	0	1	0
III.次世代自動車及び充電設備の率先的な導入・活用	0	1	0
IV.板橋区版プラスチック・スマート(庁内)の推進	0	1	0
V.職員の意識改革・行動変容	—	—	—
計	0	3	0

※I及びVは数値による指標の設定が困難なため、めざす方向性や取組内容のみを示す。

表 2-2 令和4年度における指標の実績と進捗状況（事務事業編 2025）

指標名	基準年値 令和3年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和4年度	進捗率	進捗度※
柱 II 高圧受電施設への再生可能エネルギー100%電力の導入拡大						
再生可能エネルギー100%電力の導入拡大	18.9%	↗	64.3%	21.6%	5.9%	漸進
柱 III 再生可能エネルギー100%電力を使用した電気自動車（EV）の導入						
本庁舎の庁有車への電気自動車導入及び台数拡大	0台	↗	9台	1台	11.1%	漸進
柱 IV 庁内で使用するプラスチック製品の使用抑制						
区施設へのウォーターサーバーの設置及び施設数拡大	0施設	↗	26施設	4施設	15.4%	漸進

※計画最終年度の目標達成に向けた進捗状況。基準年値と比較して実績値がこのままのペースで推移した場合に、進捗率が100%以上になるものを「順調」、改善はしているものの100%に届かないものを「漸進」、0%以下になるものを「停滞」とした。令和4年度については、4か年計画の1年目であるため、進捗率が25%以上になるものを「順調」とした。

(3) 柱となる取組ごとの進捗状況概要

柱Ⅱ：高圧受電施設への再生可能エネルギー100%電力の導入拡大

①進捗状況による評価

- ・再生可能エネルギー100%電力の導入拡大については「漸進」となった。

②令和4年度の主な成果

- ・3施設（エコポリスセンター、弥生児童館複合施設、子ども家庭総合支援センター）へ導入し、23施設から26施設へ拡大した。

③今後の方向性等

- ・令和4年度は環境施設や省エネルギー設備を導入している新築施設など3施設への導入に留まったが、関係部署と調整を進め拡大していく。

柱Ⅲ：再生可能エネルギー100%電力を使用した電気自動車（EV）の導入

①進捗状況による評価

- ・本庁舎の庁有車への電気自動車導入及び台数拡大については「漸進」となった。

②令和4年度の主な成果

- ・本庁舎の庁有車として、再生可能エネルギー100%電力を使用する電気自動車を1台配備した。

③今後の方向性等

- ・使用している自動車のリースの更新時期などを考慮しながら、電気自動車の販売動向を注視しつつ、電気自動車の導入を推進していく。

柱Ⅳ：庁内で使用するプラスチック製品の使用抑制

①進捗状況による評価

- ・区施設へのウォーターサーバーの設置及び施設数拡大については「漸進」となった。

②令和4年度の主な成果

- ・4施設（区役所、赤塚支所、エコポリスセンター、グリーンホール）へウォーターサーバーを導入した。

③今後の方向性等

- ・令和4年は4施設への導入に留まったが、利用者の多い施設など関係部署と調整を進め設置施設数を拡大していく。